

# 橙 和

— TOWA —

Vol.8 2022年度上期号

新潟食料農業大学 大学だより



(村上茶体験)

- 1 後援会会長あいさつ
- 2 学長あいさつ
- 3 後援会役員名簿
- 4 新型コロナウイルス感染症  
対策について
- 5 2022年度 上期活動報告
- 6 キャリア支援について
- 7 同窓会設立について
- 8 後援会総会報告
- 9 2022年度 下期活動予定



橙和…一期生による造語。本学のイメージカラーであるオレンジと、その実が春先から夏場にかけては青く、秋には見事に熟す「橙」を自分たちの成長になぞらえ、そしてその「和」が永遠(とわ)に続くように、との願いを込めています。

## 1 後援会会長あいさつ



新潟食料農業大学 後援会会長

澁谷 高幸

会員の皆様におかれましては、平素より講演会の活動に際し、ご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。今年度に入り新型コロナウイルス感染対策と社会経済の両立を目指し、様々な工夫の上、当後援会におきましても活動を行っております。また、総会につきましては会員の皆様から多大なるご理解をいただき、書面

表決での決議を取らせていただきました。お手間をおかけいたしました。あらためて感謝申し上げます。

新潟食料農業大学後援会は、「本学の教育・研究事業を援助し、本学の発展に寄与すること」を目的として活動しております。また、会員相互の親睦を深める役割も担っているものであります。今年度も会員の皆さまのご理解とご協力のもと今年度の活動を行って参ります。

前期授業については多くの授業を対面形式で実施され、学びを深めることができましたことをうれしく感じている次第であります。今後も新型コロナウイルス感染対策を取りながら、後援会としても実りの多い学びの環境構築に教職員の皆様とともに進めていく所存であります。

第二期生である4年生は卒業研究が本格化する中、第一期生の経験を活かし就職活動や進学活動も並行して行う等、多忙な日々を過ごしてきておりますが、面接練習やエントリーシートの作成にも注力して努力している等、期待が持てる様子も聞こえてきております。

最後に今年度も会員の皆さまのご理解をいただきながら後援会活動を行い、学生の皆さんへの支援に努めて参りますので、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 2 学長あいさつ



新潟食料農業大学 学長

渡辺 好明

2018年4月に開学した新潟食料農業大学は、今年で開学5年目に入りました。4月には、学部の第5期生として171名が、また、新たに開設された大学院修士課程の第1期生として5名が入学しました。大学院修士課程の入学者は、いずれも本学学部卒業生であり、学部での4年間の学びがいかにかに充実したものであったかを示す、喜ばしい結果であると感じています。大学院では、1期生が修了する2年後を予定年度として、博士後期課程修士課程を設置することも構想しています。

さて、「新型コロナウイルス感染症」の流行は第7波に入り、残念ながら、未だ終息の兆しが見えない状況です。本学においても、感染者が発生していますが、幸いなことにクラスターには至っておらず、感染予防対策を徹底しながら対面授業を継続し、5月には学外圃場での「田植え実習」も無事に実施することができました。また、課外活動として、六次産業化クラブによる有機野菜の栽培・販売活動、水耕栽培サークルによる作物栽培、養蜂（ミツバチ）サークルによるハチミツづくりなど、新たな取り組みにも挑戦したほか、スポーツ活動でも、指定強化部を中心に全国大会への出場など、優れた成績を挙げています。

いずれも、対面による教育・研究、課外活動等を維持・継続してきたからこそその成果であると実感しており、また、こうした取り組みは、学年を越えた学友の絆を創り、社会に出てからも実践型のいわばユーティリティー・プレーヤーとしての基礎づくりに役立つものと確信しています。

新型コロナウイルス感染症の流行やロシアによるウクライナ侵攻で食と農のサプライ・チェーンが寸断され、フード・システムの脆弱性があらわになりました。今日ほど、本学の理念が重要視され生かされていくときはないと考えています。食料産業のさらなる成長・前進に寄与できる人材を育成すべく、教職員一同、今後さらなる努力をいたします。

本学が、「食の総合大学」として一層の発展を遂げ、地域社会から頼られ、新潟から日本全国、そして世界へ、循環型経済へと貢献していけますよう、皆様方には、これまで以上のご支援をお願いしたいと存じます。

## 3 後援会役員名簿

(敬称略)

2022年度役員	役職名	会長	副会長	副会長	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	監事	監事
	氏名	澁谷 高幸	岩田 明穂	渡邊 千恵子	樋浦 幸彦	若杉 隆義	高橋 恭子	佐藤 有美	加藤 千晴	岩川 佳明	水越 亜希子	佐藤 輝子	布川 貴幸	金子 聡
	学年	4年	3年	3年	4年	4年	4年	2年	2年	1年	1年	1年	3年	2年

## 4 新型コロナウイルス感染症対策について

本学では2020年4月8日に新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、「感染しない・させない」「すべての学生・教職員および地域住民を守る」を原則としたきめ細かい対応にあたっています。2020年度後期以降、徹底した感染防止策を講じて、ほぼすべての講義・実験を対面形式で実施しています。学内へのウイルス持ち込みを避けるため、長期休暇後や連休明けには、新潟県内の自宅・アパートで健康観察に努める健康観察期間を設定するほか、必要に応じてオンライン形式の授業を併用するなど、Withコロナによる大学運営を行ってきました。

第7波といわれる感染急拡大により、本学でも学生や教職員の弧発性発症例や家族内感染例が発生しておりますが、幸いにもキャンパス内への持ち込みにはいたっておりません。

本年4月には、姉妹大学である新潟医療福祉大学にて3回目の職域接種が実施されましたが、接種率は6割強に留まっています。新型コロナウイルス感染症に感染した後の再感染防御やワクチン接種による感染防御の効果は数ヶ月とされており、感染防御、重症化予防のためには免疫ブースターとしてワクチン接種を続けるしかないのが現状です。致死率は、季節性インフルエンザの10倍に及ぶともいわれ、感染後の後遺症が長引く例もあります。新型コロナウイルス感染症は危険な疾病です。副反応を恐れて複数回接種を望まない学生が多いようですが、コロナ禍を生き抜くためには、積極的なワクチン接種が欠かせません。

学生の皆様には、積極的に3回目、4回目の接種を受けるようお願いしております。今後も大学としては、「感染しない・させない」「自分の命を守る」ためのワクチン接種を推奨していきます。

2022年度の後期を迎えるにあたって、通学予定日の1週間前から、新潟県内の自宅・アパート等で健康観察を行うことになっています。教育効果が高い対面での講義、実習・実験・演習を実施するために、キャンパス内での感染を避けるよう慎重な対策を続けていきます。

学生・保護者の皆様には、引き続き、多くの制限・制約にご対応いただくこととなりますが、ご理解・ご協力のほど宜しくお願いいたします。



新型コロナウイルス感染症対策本部 本部長

中井 裕

## 5 2022年度 上期活動報告

- 4月4日(月)
  - ・在学生オリエンテーション(新2年生・新4年生)
- 4月5日(火)
  - ・在学生オリエンテーション(留学生・編入学生・新3年生)
- 4月6日(水)～8日(金)
  - ・新入生オリエンテーション
- 4月7日(木)
  - ・新4年生健康診断日
- 4月8日(金)
  - ・大学院生オリエンテーション
- 4月9日(土)
  - ・入学式(学部・大学院)
- 4月11日(月)
  - ・前期授業開始日
- 4月11日(月)～20日(水)
  - ・履修登録期間(前期・後期)
- 4月19日(火)
  - ・「インターンシップⅡ」ガイダンス(3年生)
- 4月25日(月)・26日(火)
  - ・履修確認期間
- 5月13日(金)
  - ・農学基礎実習(田植え)
- 5月16日(月)
  - ・1年生健康診断日
- 5月17日(火)
  - ・2年生・大学院生健康診断日



- 6月1日(水)～7日(火)
  - ・第1回コース望調査(1年生)
- 6月1日(水)
  - ・3年生健康診断日
- 7月15日(金)
  - ・コース配属説明会(1年生)
- 7月19日(火)
  - ・前期定期試験 時間割公示日
- 7月29日(金)
  - ・2年次火曜日授業(15回目)※新潟キャンパス
- 8月1日(月)
  - ・1年次火曜日授業(15回目)※新潟キャンパス
- 8月9日(火)・10日(水)
  - ・追試験、再試験
- 8月9日(火)～9月21日(水)
  - ・「インターンシップⅡ」実地研修期間(3年生)
- 8月11日(木)～9月21日(水)
  - ・夏季休業期間
- 9月20日(火)
  - ・「インターンシップⅠ」授業開始(1年生)
- 9月21日(水)
  - ・「インターンシップⅡ」実地研修①(1年生)
- 9月21日(水)
  - ・前期成績通知日(学部・大学院)
- 9月22日(木)
  - ・後期授業開始



2022年度の前期授業についても昨年度と同様に開始日の2週間前には新潟県の自宅やアパート等で待機、準備をしていただき、在学生オリエンテーション、新入生オリエンテーションを皮切りに新年度の活動を開始しました。本学の授業は4月より感染症対策を徹底しながら対面形式を基本として行ってきております。

4年生は大学生活最後の一年をアグリ・フード・ビジネスの各コースで卒業研究に取り組んでおり、並行して就職活動も行ってきました。早め早めの準備、就職活動を実施し、順調な様子です。今年度も良い就職実績が出せることを期待しております。学修活動としては今後の社会で活躍するためにも前期授業として「食料産業実践論Ⅰ」を受講しました。この授業は他コースの学生と共にグループを作り、農業・畜産・食品加工・農村ビジネス・飲食業などの新しいビジネスプランを立案します。これまでに学んだ食の総合的な知識と、各コースで修得した専門的な知識・技術により、実際にフードチェーンを通して事業化するために何が必要か、新しい時代の産業を創出する思考と判断力を養います。自身とは異なる専門性を持つ学生と共に考える、1学部3コース制による横断的な教育体制の本学ならではの科目です。また、9月下旬から始まった後期授業で「食料産業実践論Ⅱ」を通して更に学びを深めていく予定です。

3年生、2年生の在学生や新入生もそれぞれ新しい環境の中、たくさんの学びを得てきました。特に新入生はアグリ・フード・ビジネスの各分野を横断的に学ぶため、多くの必修科目の講義に取り組む必要があります。また農学基礎実習では圃場で実際に栽培・収穫・調査を行う等の経験をしてきました。講義・実習以外でも各学年の学生たちがオープンキャンパス等で積極的に本学をアピールしてくれています。実際に入学して、学修活動を行っている現役在学生の言葉やお話は受験生が今後の進路等を考える上で良い効果をもたらしているようです。その他、サークル活動に一生懸命取り組む学生等、それぞれががんばりを見せています。

9月下旬からの後期についても全学を挙げて、多くの学びを得られる学修を継続しております。

## 6 キャリア支援について

この春の卒業生91名のうち、就職希望者は81名、うち3月末まで就職者は80名、就職内定状況は98.8%となりました。未決定の学生への支援を卒業後も行い、最後の1名も6月に就職決定、実質結果100%就職決定となりました。そのほかの10名は、大学院への進学7名、帰国留学生2名、進学準備1名となりました。

教員・キャリア支援課による学生に寄り添った支援を常に意識し、最終的に学生の努力が結実した結果と考えています。現在、第2期生(2023年3月卒業予定)が就職活動中です。10月1日の内定解禁に向けて、3年次より多様なセミナーを実施、その他情報提供等により就職支援を行って参りました。今回は、その一部をご紹介します。

### ■エントリーシート作成

就職活動において第一関門となるエントリーシート(ES)。現在は様々な様式のESがあります。特に近年はWebから直接入力するタイプやオープンESといった、データ型のESも一般的になりました。キャリアセンターでは職員全員が学生のES作成を補助、添削を行い、書類選考の通過率を上げるように努めています。

### ■面接練習

コロナ禍の影響でWeb面接を実施する企業が増加、キャリアセンターもWeb面接対策に取り組んでいます。本番さながらの面接ロールプレイングを実施、複数の職員が面接官役を務め、学生に面接のフィードバックを行う、といった取り組みもしています。また、最終面接は対面で、という企業も多数ありますので対面形式の面接練習も実施、立ち居振る舞い、目線の動きなど細かな点まで指導、実践的なロールプレイングを行っています。

### ■就職活動実績

キャリアセンターではより実践的な支援を行い、学生が希望する分野で内定を頂けるように努めています。今後も職員一人一人が学生に寄り添った支援を続けて参ります。NAFU卒業生の活躍に大いに期待してください。

## 7 同窓会設立について

### 同窓会会長あいさつ

新潟食料農業大学 同窓会会長 西森 涼太

皆様には、日頃から新潟食料農業大学同窓会の事業、活動等にご理解・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

新潟食料農業大学同窓会は、卒業生相互の連携・親睦及び相互の研修・向上を図り、あわせて本学の発展に寄与することを目的として令和4年4月に発足しました。

新潟食料農業大学同窓会は、新潟食料農業大学の正会員、準会員、特別会員、客員会員で組織されます。

正会員の中から選出された代表が同窓会役員となり、事業計画や予算、決算など重要事項について審議し、また、同窓会役員が役割分担して、新潟食料農業大学同窓会の事業を運営しております。

新潟食料農業大学との懇談会による意思疎通や新潟食料農業大学及び同窓会員との交流会、講演等の開催により、連携と親睦を深めるとともに、食業界をはじめとしたさまざまな業界をリードしていく新潟食料農業大学の発展を支援し、社会への貢献を図る所存で活動しております。この他に、同窓会誌の発行、在学生に対する支援活動、大学との共同事業等を行っていく予定です。

新潟食料農業大学同窓会は正会員の会費を財政基盤としておりますが、前述の事業を行うためには、同窓会員の皆様及び企業等の皆様からのご支援なくしてはなしえないものであり、今後とも新潟食料農業大学同窓会の持続的な運営と各種事業の推進にお力添えをお願いする次第です。

結びになりますが、母校の発展、在学生への支援に資する新潟食料農業大学同窓会活動の充実のため、新潟食料農業大学へご要望やご意見をお寄せいただければ幸いです。皆様のお声を活かし、いつでも同窓会員の居場所になれるような新潟食料農業大学同窓会にしていきたいと考えております。

新潟食料農業大学同窓会は皆様とともに成長してまいります。ますますのご協力をお願い申し上げます。

### 【同窓会役員紹介】

(敬称略・五十音順)

役職	会長	副会長	副会長	幹事	幹事	幹事	幹事	会計	会計	監査役	監査役
氏名	西森 涼太	郡司 青空	澤村 凛々子	信田 悠太郎	土田 有晟	原 健	渡辺 舞	小久保 夏希	山中 悠斗	五十嵐 夏月	佐竹 優大
卒業 コース名	ビジネスコース	アグリコース	ビジネスコース	アグリコース	フードコース	フードコース	ビジネスコース	フードコース	フードコース	ビジネスコース	ビジネスコース

## 8 後援会総会報告

今年度の後援会総会につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために対面形式では開催せず、会員の皆様には「開催方法変更のお知らせ及び書面表決のご依頼」と「2022年度 後援会総会資料」を送付させていただき、書面にて報告事項、審議事項をご確認いただきました。お忙しい中、ご確認、ご審議くださり誠にありがとうございました。

ご審議の結果につきましては「第1号議案」「第2号議案」「第3号議案」のすべてにおいて全会一致で承認されましたので、ここに報告いたします。

事業報告や決算、予算等の詳細については、以前に送付させていただきました「2022年度 後援会総会資料」をご確認いただけますようお願い申し上げます。

今後とも後援会事業についてのご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

## 9 2022年度 下期活動予定

○9月5日(月)～16日(金)	夏季集中講義期間	○12月24日(土)～1月9日(祝・月)	冬季休業
○9月20日(火)	「インターンシップⅠ」授業開始 (1年生)	○1月10日(火)	後期授業再開
	「インターンシップⅠ」実地研修① (1年生)	○1月10日(火)～31日(火)	転コース申請受付期間 (2年生・3年生)
○9月21日(水)	前期成績通知日(学部・大学院)	○1月10日(火)～2月13日(月)	後期成績登録期間(学部・大学院)
○9月22日(木)	後期授業開始	○1月12日(木)	後期定期試験時間割公示
○9月22日(木)～28日(水)	履修登録内容修正・確認期間(後期)	○1月26日(木)～2月1日(水)	後期定期試験
○9月23日(祝・金)	授業実施日、農学基礎実習稲刈(予定)	○2月2日(木)～3日(金)	追試験・再試験
○10月8日(土)	「インターンシップⅠ」実地研修② (1年生)	○2月2日(木)～8日(水)	第4回コース希望調査(1年生)
○10月20日(木)	「インターンシップⅡ」報告発表会 (3年生)	○2月4日(土)～3月31日(金)	春季休業
○10月21日(金)	コース別説明会(1年生)	○2月6日(月)～9日(木)	卒業論文発表会(予定)
○10月24日(月)～30日(日)	第2回コース希望調査(1年生)	○2月6日(月)～17日(金)	春季集中講義期間
○11月6日(日)	大学祭	○2月22日(水)	卒業判定会議
○11月16日(水)	NAFU JOB博(予定)	○2月24日(金)	卒業発表
○12月12日(月)～18日(日)	第3回コース希望調査(1年生)	○3月8日(水)	進級判定会議
		○3月9日(木)	後期成績通知日(学部・大学院)
		○3月11日(土)	コース配属通知(1年生)
			卒業式

